

広島県大学図書館協議会平成21年度第2回研修会事前アンケート

1	大学名	広島大学	尾道大学	県立広島大学	広島市立大学	エリザベト音楽大学	広島文化学園大学	
1	大学概況							
(1)	学部構成	総合科学部、文学部、教育学部 法学部、工学部、経済学部 生物生産学部、理学部、 医学部、歯学部、薬学部 特別支援教育特別進修科	経済情報学部、芸術文化学部	人間文化学部、経営情報学部、生命環境学部、保健福祉学部	国際学部、情報科学部、芸術学部	音楽学部	社会情報学部・看護学部	
(2)	学生数(概数)	15,487人	約1,400人	約2,600人	約2,050人	約410人	1,019人	
2	実施状況と対象者をお答えください。(具体的に)	対象者:新入生 新入生ガイダンスのひとつとして図書館ガイダンスを実施。内容は図書館の紹介と利用案内 昨年度実績(回数、参加者数): 9回 2,484人	対象者:全学部の1年生 基礎的なガイダンスを授業の1コマの内、希望時間に沿って実施しています。内容は利用案内と施設案内です。 昨年度実績(回数、参加者数): 4回、約80名	対象者:新入生(広島C・庄原C・三原C) オリエンテーションの一環として、図書館オリエンテーションを実施。内容は利用案内 昨年度実績(回数、参加者数): 各キャンパスで1回、約650名	対象者:理学療法学科の3年生(三原C) 文献検索のガイダンスを授業の1コマをあてて実施。内容は、医中誌Web版他。 昨年度実績(回数、参加者数): 1回、31人	対象者:新入生 オリエンテーションの一環として図書館ツアーを実施しています。内容は利用案内と施設案内です。 昨年度実績(回数、参加者数): 3回、約390名	対象者:新入生 オリエンテーションの時に前半は、大教室にて利用案内、後半は3~4グループに分かれて図書館にて施設案内を行っています。 昨年度実績(回数、参加者数): 1回、約100人	対象者:新入生 オリエンテーションの一環として図書館案内を実施。5分程度の施設・利用案内 昨年度実績(回数、参加者数): 10回 243名
		対象者:1年生(申込制) 1年生必修の授業のなかでゼミ担当教員から申込があったゼミに対して、利用案内・ツアーと検索実習を行っています。 昨年度実績(回数、参加者数): 43回 1,798人		対象者:看護教員養成講習会参加者(三原C) 文献検索のガイダンスを授業の1コマをあてて実施。内容は、医中誌Web版他。 昨年度実績(回数、参加者数): 1回、28人	対象者:学部の1年生 授業の1コマを借りて、利用案内・OPAC検索実習・DB紹介といった基礎的なガイダンスを実施しています。 昨年度実績(回数、参加者数): 3回、308名		対象者:新入生 1年生を対象として、ゼミの一コマをいたいて実施。NDC説明、OPAC演習。 昨年度実績(回数、参加者数): 3回、約80名	
		対象者:1年生 本学情報教育メディアセンターの教員が中心に運営している授業「情報活用基礎」で図書館リテラシーに関する授業を担当。1コマ90分のうち、60分を担当し、初年度前期に実施 昨年度実績(回数、参加者数): 9回 519人		対象者:国際文化学科の1年生(広島C) フレッシュマンセミナー(授業)の1コマをあてて、文献検索ガイダンスを実施。内容はOPAC検索実習、DB・EJの紹介、利用案内等 昨年度実績(回数、参加者数): 2回、90名	対象者:国際学部の2年生 授業の1コマを借りて、DB実習、レファレンス図書紹介といった情報検索に重点を置いたガイダンスを実施しています。 昨年度実績(回数、参加者数): 2回、106名		対象者:3・4年生・院生希望者 卒業論文作成や研究方法指導を目的とし、GINII、医中誌などのデータベース、2次資料を用いた論文の検索方法を指導。授業と連携しており、一人からでも参加できる。 昨年度実績(回数、参加者数): 34回、約120名	
				対象者:保健福祉学部の1年生(三原C) 利用者教育の一環として、フレッシュマンセミナー(授業)の1コマをあてて実施。内容は利用案内、OPAC検索演習 昨年度実績(回数、参加者数): 5回、約198人	対象者:コミュニケーション障害学科の教員(三原C) 文献検索のガイダンスを希望された教員に実施。内容は、医中誌Web版とPubMed。 昨年度実績(回数、参加者数): 1回、1人	対象者:芸術学研究科(院生) 授業の1コマを借りて、利用案内・OPAC検索実習・DB紹介といった基礎的なガイダンスを実施しています。 昨年度実績(回数、参加者数): 1回、12名		
				対象者:人間福祉学科の3,4年生(希望者)及び教員(三原C) 文献検索のガイダンスを授業の1コマをあてて実施。内容は、医中誌Web版他。 昨年度実績(回数、参加者数): 3回、18人	対象者:コミュニケーション障害学科の3年生及び教員(三原C) 文献検索のガイダンスを授業の1コマをあてて実施。内容は、医中誌Web版とPubMed。 昨年度実績(回数、参加者数): 1回、27人	対象者:学生、教職員、一般 ミニガイダンスとして個々のテーマについてのガイダンス(講習会)を開催しました。毎月1~2テーマ、各1~3回、1回につき20分~30分のガイダンスでした。テーマは各種データベースや、利用案内等。自由参加の形式にしたため、参加者の確保が困難だったので、今年度は教員と連携したミニガイダンスの開催を検討しています。 昨年度実績(回数、参加者数): 37回、129名(1回平均3~4人)		
3	工夫している点をお答えください。	ゲームや、e-learningの導入で、学生にできるだけ実習形式の講習会・授業を提供するようにしている	図書館利用の有用性のところから話を始め、学術分野だけではなく幅広い分野の資料もあつたことをアピールし、まず来館してもらうことを促しています	・演習問題のプリントを作成して、実際にOPACで検索する演習をしている。 ・眠らせないようにするために、実際に自分で検索した図書を図書館で貸出(場合によっては返却まで)するという作業を組み入れている。	眠らせないようにするために以下のような工夫をしています。 ・基礎的なガイダンスでは、授業時間中に実際に課題図書を図書館で借りるという作業を入れている。 ・ガイダンス中に学生を指名する。 ・実習を含める。 ・学生に前に出てきてもらって画面を操作してもらう。などです。	著作権についてのDVDを見せ、興味を持たせようとしています。	・学生全員が画面が見れるようコンピュータを利用し、課題に関連した図書を検索する。学生を書架へ移動させ現物を探した上で解答をさせる方式にしている。 ・グループの代表者に指導し、代表者からグループ学生に検索方法を教えてもらうようにしている。(他の人に伝えなければならぬため、まじめに聞くようになることが狙い)	
4	課題や問題となっている点がありましたらご記入ください。	少数の職員で効果的リテラシー教育を行う方法。質を落とさずに省力化することが課題。	ガイダンスを積極的にこなすには、まず十分な説明要員の確保が必要ですが、現状では少人数体制のため、限られた時間でしか実施できません。	職員のモチベーションとスキルアップ 職員体制について、講師を複数の担当者で務めるようにしたいが、実現が難しい。	・図書館ガイダンスの時期や内容が学生のニーズに一致していないため、教えたことが身につけていないように感じています。学生が必要とする時に必要な内容を教えることができるようなしくみ考えることが課題です。 ・学部新入生だけでなく、院生や教員に対する情報リテラシー教育の必要性を感じています。他大学で実施されているところがあれば、例をお聞かせいただきたいです。	オリエンテーションの一度の案内では、利用方法はあまり理解できていないようです。試験前や、レポート提出前には、図書館利用者が多いのですが、普段はほとんど利用者がいないのが気がかりです。 評価については職員内での反省会はしているのですが、利用者の効果を確認することはできていません。	学部によっては新入生対象のガイダンスが十分に行っていないので、どの授業と連携すればよいか検討中。	

広島県大学図書館協議会平成21年度第2回研修会事前アンケート

大学名	日本赤十字広島看護大学	比治山大学	広島経済大学	広島工業大学	広島国際大学	広島国際学院大学
1 大学概況						
(1) 学部構成	看護学部	大学…現代文化学部 短大…幼児教育科・総合生活デザイン学科・美術科	経済学部	工学部、環境学部、情報学部	保健医療学部、医療福祉学部、心理科学部、工学部、看護学部、薬学部	工学部、情報デザイン学部、現代社会学部
(2) 学生数(概数)	約650人	大学…1250人 短大…750人	約3,900名	約4,000人	約4,800人	約1,000人
2 実施状況と対象者をお答えください。(具体的に)	<p>対象者:新入生</p> <p>テーマ:「20分でわかる図書館活用術」1グループ15名程度で実施。内容は、入館システム、図書館のパソコン、複写と著作権、資料の配置等に焦点を絞って館内ツアーを実施</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 11回、約160名</p> <p>対象者:1年生と編入3年生(平成21年度)</p> <p>授業の基礎ゼミの1コマにて実施。テーマ:「文献検索は今! 図書館徹底活用術」1文献の検索から入手まで(概要説明)2さあ、やってみよう(探し方体験)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 16回、160人</p> <p>対象者:2年生と編入4年生(平成21年度)</p> <p>授業の基礎ゼミ2の1コマにて実施。テーマ:「文献検索は今! データベース徹底活用術」OPAC 医学中央雑誌Web、CINII、機関リポソリの紹介と実習</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 14回、142人</p> <p>対象者:3年生と4年生と編入4年生</p> <p>テーマ:「今日からあなたは文献入手の達人」一次文献入手方法のいろいろ</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 2回、194人</p>	<p>対象者:新入生</p> <p>オリエンテーションのときに、図書館利用案内として、館員が教室に向き説明する。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 大学、短大各1回 人数合計1020人</p> <p>対象者:1年生</p> <p>「初年次セミナー」の時間を利用して、図書館内で実施。内容は担当教員の要望に沿うもので行う。(館内ツアー、利用方法、OPACなど)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 15回 152人</p> <p>対象者:2年生以上</p> <p>授業時間内で、担当教員が学生を図書館に連れてきて、館員が説明を行う。雑誌の探り方、論文検索などが主な内容である。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 7回 70名</p>	<p>対象者:1年生(前期)</p> <p>入門ゼミⅠの必修で1コマ(90分)を図書館実習に充てている。内容は、図書館ツアーとブラウジングとOPACによる本の検索です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 72回 898名(1060名中)</p> <p>対象者:1年生(後期)</p> <p>入門ゼミⅡの1コマを使って、情報リテラシーの演習をします。内容は、簡単なテストと図書・雑誌・新聞の検索実習です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 今年度から実施中で、69回、約900名が参加予定</p> <p>対象者:専門ゼミ受講者</p> <p>ゼミの教員に働きかけ、文献検索のガイダンスをしています。内容は、教員と相談して、ゼミからの要望によってDB検索やOPAC、雑誌・新聞記事検索などを実施しています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 21回 231名</p>	<p>対象者:新入生全員</p> <p>新入生ガイダンスの一環として図書館利用案内(パワーポイント)と館内ツアーを行っています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 12回(2日間)、約1,050名</p> <p>対象者:健康情報系の1年生</p> <p>『化学実験』という授業の中で、資料の調べ方等やその授業内容に沿った内容のガイダンスをしています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 1回、約30名</p> <p>対象者:情報学部の1年生</p> <p>『自校教育論』という授業の中で、館長による講義と、パワーポイントによる図書館紹介、著作権について等を行いました。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 3回、約1,000名</p> <p>対象者:全学年の学生及び院生</p> <p>希望者を募り『ビギナー用』『上級者用』等のガイダンスを行っています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 随時、年間約90名</p>	<p>対象者:新入生</p> <p>希望する先生の授業時間を利用していただき、利用案内、施設案内、蔵書検索、データベース活用法などの講習を実施。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 10回、約230名</p> <p>対象者:主に2,3年生</p> <p>図書館で日時場所を設定し、希望する学生や教員に対して、利用案内、施設案内、蔵書検索、データベース活用法などの講習を実施。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 5回、約40名</p>	<p>対象者:新入生</p> <p>オリエンテーションの一環として、図書館ガイダンスを実施しています。内容は利用の説明と図書館見学です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 1回、約200名</p> <p>対象者:現代社会学部の1年生</p> <p>合同ゼミの1コマを使って、前半は図書館員が基礎的なガイダンスを行い、後半は教員が作成した演習問題を各自で解いていきました。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 1回、約60名</p>
3 工夫している点をお答えください。	<p>1自分の図書館を知ってもらう。学年を意識→1年生でOPAC等を駆使して自分の図書館の資料を使いこなし、2年生でデータベースを駆使して図書館を使いこなし、3年生で4年生では、データベースを駆使して自館にない資料も入手する。</p> <p>2楽しく参加してもらう。</p> <p>3楽しく参加してもらう。</p> <p>4体を使って、グループで行動し、発表形式で他の人に情報提供する。</p>	<p>1年生対象の場合、先生の要望に併せるのが基本であるが、最後にOPACで検索し、本を借りてみるなど体験させている。DVD『比治山大学の図書館』を見せている教員もいる。</p>	<p>本の検索では、実際に書架にいて本を探し、本を持って取ってくる代わりに書架に置いてあるシールを貼らせて。探しに行かせる本は学生が興味のあるものを選んでいきます。また、トリアップほしいクイズを出し、採ってきた本の中から答えを見つけるよう、楽しさを加えた実習内容になるようにしています。</p> <p>情報リテラシーでは、プレテストをしてその解答をしながら情報リテラシーの基礎を教え、キーワードの設定についても教えます。</p> <p>専門ゼミ対象のガイダンスでは、教える内容を固定せず、教員の要望を聞きながら、カスタマイズしています。ゼミの方針に沿った内容なので、その後のゼミ活動に役立ちやすいかと思います。</p>	<p>眠らせないようにするために、基礎的なガイダンスでは、授業時間中に実際に課題図書を図書館で借りるという作業をさせています。</p>	<p>事前に担当教員とガイダンス内容、目的についてできるだけ具体的に打ち合わせをしている。基礎コースでは、実際に図書を検索し、貸出・返却を体験してもらっている。他担当のスタッフを補助として参加させて、研修の機会としたり、改善点や工夫すべき点を指摘してもらったりしている。</p>	<p>館内の案内図を持ち、スタンラリー方式をとって自主的に4箇所を回ってもらいました。</p>
4 課題や問題となっている点がありましたらご記入ください。	<p>○1年生と2年生の基礎ゼミで授業の1コマを使って実施した場合、前期と後期の時間的ずれが発生し、同じ学年で図書館の理解度にはばらつきが生じていること。</p> <p>○テキストや例題等の、講習会で使用する道具の工夫に毎回苦労している。</p> <p>○不変の定理の中に時の話題をちりばめる等、講習会の構成に苦労している。</p> <p>○すべてが手探りで、学生の反応を見ながら毎回軌道修正しながら実施しているため、同じ質の講習会とならず苦労している。</p>	<p>図書館主体というよりも、教員の補助という形をとって行っているが、今後、図書館が主体となってできるようになれば良いと思う。</p>	<p>全新入生必修の授業の一部に図書館ガイダンスが組み込まれているため、ほぼ全員の学生たちが参加するようになっています。ですが、ガイダンス後の利用状況を見ていると、実施しているガイダンスが効果的に活きていないのでは?と、感じ始めています。一度のガイダンスだけで終わるのではなく、その後の図書館利用に繋がるような取り組みをされている館があれば参考にさせていただきます。</p>	<p>・職員体制について悩んでいます。ガイダンス講師役を務めることは、図書館職員としてもスキルアップでき、学生の反応を目の前で実感できるよい機会なので、全員に担当になってもらいたいところですが、それだとリテラシー教育者としてのスキルアップがあまり図れず、なかなか前進しないように思えます。</p>	<p>大学の研究分野について、専門的な知識が不足していることにより、質問に答えられないケースもある。専門的な知識の修得には時間がかかるため、長期的かつ計画的なスタッフ育成が必要だが、雇用形態の問題もあり、うまく進んでいない。ホームページ内で、パワーポイントや動画でのバーチャル利用教育を工夫したいと思っている。そのような工夫をされている大学さんがあれば、運用方法なども教えていただきたい。</p>	<p>継続的にガイダンスを行っていないことが、今後の課題です</p>
		<p>本年度は、昨年度よりも回数と参加人数は増えている。もっと広報すれば、更に増えると思われるが複数の担当職員が行う場合、図書館内での研修などが必要になるでしょう。</p>	<p>現在、理解が難しい学生を細かくサポートできるよう、1ゼミに対して2名の職員が付いてガイダンスを実施しています。今年度スタートした後期のガイダンスでも同じ人員体制で実施しているのですが、前期も後期も…となるさすがに負担が大きくなる問題になっています。前期は実習形式のためこのままの人員を維持していきたいのですが、後期は大人数のスクール形式に変更せざるを得ないと考えています。大人数のスクール形式で、学生にしっかりと理解してもらえらる工夫をされている館があればご教授ください。</p> <p>専門ゼミのガイダンスでは、ゼミごとに内容や検索テーマなどを検討する必要があります。準備に時間がかかってしまいます。また担当者が一人名しかおらず、入門ゼミのガイダンスとの掛け持ちが負担となる場合もあります。</p> <p>現在、自由参加方式のミニガイダンスを検討しています。イメージとしては、時間と集合場所と対象データベースを設定し、集まった学生に教えるという形です。このようなガイダンスを実施されている、または実施していた館がありましたら、その内容をご教示願います。</p>	<p>・評価について、当館ではガイダンス後の利用者の効果を確認する作業や、職員内での反省会などを行っていないのが気がかりです。他大学さんでどんな評価を行っているか伺って、参考にさせていただきます。</p>	<p>他大学において、利用者教育を担当されているの、どのような業務担当者なのか参考にお伺いしたい。図書館での学生利用者のマナー向上には、他大学ではどのように対処、注意喚起されているのかお教えいただきたい。(飲食禁止、席取り等)</p>	

広島県大学図書館協議会平成21年度第2回研修会事前アンケート

大学名	広島修道大学	広島学院大学	広島文教女子大学	福山大学	福山平成大学	安田女子大学
1 大学概況	<p>(1) 学部構成 商学部、人文学部、法学部、経済学部、人間環境学部</p> <p>(2) 学生数(概数) 約6,100人</p>		人間科学部	経済・人間文化・工・生命工・薬	経営学部、福祉健康学部、看護学部	文学部、現代ビジネス学部、家政学部、薬学部、短期大学
2 実施状況と対象者をお答えください。(具体的に)	<p>対象者: 全学生</p> <p>ゼミや授業単位で、目的に合わせたDBIによる文献検索及び図書館資料の使い方、館内ツアーを行っています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 36回、約450名</p>	<p>対象者: 新入生(全て)</p> <p>入学時オリエンテーションの一環。PWPによる図書館案内。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 1回、464名</p>	<p>対象者: 新入生</p> <p>オリエンテーションとして「大学生生活概論」の中で利用案内を実施しています。(1コマ+α)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 2回 約550名(延べ)</p>	<p>対象者: 新入生</p> <p>オリエンテーションの一環で行っていたが、新入生の反応が鈍いので、教養ゼミ教員からの申し出により、随時行っている。内容は、教員からの申請内容により変化。概要説明の時や、一業務の説明に終わる時もある。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 21回(252人)</p>	<p>対象者: 新入生</p> <p>新入生対象オリエンテーション時に図書館の利用案内等の説明をしている。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 1回、約300名</p>	<p>対象者: 新入生(1年生向け)</p> <p>(1) 本学図書館資料の探し方(30分) ・安田女子大学図書館ホームページ (2) 館内見学(30分) ・施設利用案内 ・資料紹介(図書・雑誌) ・本学図書館で利用できるサービス</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 13回 約499名</p>
	<p>対象者: 1年次生</p> <p>初年次教育科目「ファーストイヤー・セミナーⅠ」において、簡単な利用案内・OPAC検索実習・館内ツアーと、その時限のための課題作成及び評価も図書館で行っています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 42コマ(68クラス分) 1,450名</p>	<p>対象者: 新入生(全て)</p> <p>基礎セミナーの授業、主にクラス単位で図書館ツアーと基礎的なガイダンス。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 24回、約464名</p>	<p>対象者: 希望者(全学年)</p> <p>ゼミ単位、または個別に希望に応じて実施しています。内容は、OPAC検索方法とDBの紹介、更に論文検索など、図書館HPの各ページを使つての演習形式です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 2回 約33名</p>	<p>対象者: ゼミ単位での利用案内 (教員からの要望があれば)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 4回、約24名</p>	<p>対象者: 文獻調査(上級生向け)</p> <p>(1) インターネットを使った文獻調査(35分) ・安田女子大学図書館蔵書検索システム ・NACIS-Webcat ・Cinii 他、データベース等 (2) 館内見学(35分)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 16回 約314名</p>	
		<p>対象者: 希望者クラス(3,4年生が多い)</p> <p>ゼミごとや、クラスごと、グループ、個人で希望によりガイダンスを実施。授業の1コマ(90分)行う。内容は申し込まれた教員あるいはグループ等の希望にあわせる。主にはデータベースの検索方法、まれにツアーや実際に雑誌の見方などの説明もある。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 10回、約150名。</p>			<p>対象者: 大学院生</p> <p>文獻調査(上級生向け)に加えて、データベース、e-Journal、e-Bookの紹介と検索実習(90分)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数): 1回 24名</p>	
3 工夫している点をお答えください。	<p>できるだけ、学生が手を動かす時間を取るようになっています。また、DBで検索した論文を館内の資料で実際に見て、確認して貰い、実際に入手するときのイメージ定着を図っています。</p>	<p>ツアー: 人数が多すぎると後ろのほうは聞こえないので、ツアーは約20名を限度として行く、人数が多いときは分ける。</p> <p>ガイダンス: PWPなどを活用し、視覚的にも変化をつける。各1名ずつPCを利用できるようにして、自分のテーマで検索できるように対応している。</p>	<p>新入生に対しては、導入として、ドラマ形式の視聴覚資料を用いて、楽しみながら、大学図書館という施設の特徴・概要を理解してもらうことから始めています。</p> <p>そのほかの学部生には、図書館HPを説明して、実際に演習をしながら検索方法をマスターしてもらっています。</p>	<p>授業に絡め、内容を案内者が検討し、あらかじめ教員と打ち合わせを行っている。</p>	<p>実際に体験させることで覚えてもらうようにしている。</p>	<p>10分のDVDガイダンスビデオを視聴してもらう。教養ゼミの時間を教員と相談の上、図書館ガイダンスとさせて頂く。</p>
4 課題や問題となっている点がありましたらご記入ください。	<p>1年次生のファーストイヤー・セミナーⅠでは、だんだんと学科・専攻毎に内容のアレンジを求められるようになり、実施の体制や手順が複雑化してきています。また、きめ細かく実施するために学生アルバイトを活用していますが、こちらが希望する時間には多くの学生が就業できなかつたり、図書館利用経験の乏しい学生もいることから、働いてもらうために我々職員に大変な労力が必要となります。</p> <p>昨年度、ゼミ・授業科目毎のガイダンスの依頼が激減してしまった事が大きな問題です。2007年度からファーストイヤー・セミナーⅠが行われるようになって、教員が図書館利用についての指導はひととおり終えたと思われているのかもしれないので、PRIに工夫をしようと考えています。</p>	<p>ツアーにおいては、全ての職員が関わられるようにして、事前練習を重ねるが、個人により対応に差がでてくる。説明内容が職員によって異なるのは公平性に欠けるので、すべての職員が関わるのは問題があるかもしれないと思うこともある。この問題はツアー時だけではなく、カウンターで利用者対応にも同様のことが言えるので、職員一人一人の力量をあげていくための館内練習の積み重ねが重要に思う。</p> <p>各種ガイダンスについて、説明がいっぱい、いっぱいになり、学生の反応をみることでできず。2007年度からファーストイヤー・セミナーⅠが行われるようになって、教員が図書館利用についての指導はひととおり終えたと思われているのかもしれないので、PRIに工夫をしようと考えています。</p>	<p>ご多聞にもれず、職員体制について苦慮しています。こちらは、担当人数の問題です。構成上、専任(2名)以外の職員(3名)が事務補佐員としての雇用で、入れ替わりも頻繁なので、限られた担当者での対応となるため、将来的な展望がもてないことが悩みです。現在は、基本編を事務補佐員が、達人編を専任が担当して行っている状況です。希望者のガイダンスへの必要項目を予め調査して、必要に応じての希望者ごとへの細やかで重点的な対応を効率的に行っていくなど、今後の工夫の必要性を痛感しています。</p>	<p>職員意識向上を図るため、担当する職員は職員全員の当番制で行っている。</p> <p>学部による利用案内の利用回数に差が激しい。図書館として全学教員への周知を行っているが、学部長からの一言があるなしでの反応の方が大きいように伺える。</p>	<p>・ガイダンスが受動的になっており、すべての学生に浸透していないので差ができてしまう。</p>	<p>ガイダンスの実施は早番、遅番の2交代の司書パート職員で役割を分担して行っています。文獻調査ガイダンスは専門領域に入り込むため分野に即した人選と時間の調整が難しい。 (体制の問題) 電子媒体の紹介や実習には媒体へのアクセスにどうしてもスキルを身に付ける必要があり契約先を講師にして課内研修を実施しているが日頃から利用していないのでスキルが定着しない。</p> <p>評価に関しては必ず受講者のアンケートをとり次のガイダンスに役立てる様にしているが効果に関しては定かでない。効果の確認は学生のフィールドワークでの施設利用調査を参考にしている。</p>

広島県大学図書館協議会平成21年度第2回研修会事前アンケート

大学名	近畿大学工学部	海上保安大学校	福山市立女子短期大学	山陽女子短期大学	鈴峯女子短期大学	広島文化学園短期大学	呉工業高等専門学校
1 大学概況							
(1) 学部構成	工学部		(専攻)生活学科・保育科	人間生活学科、食物栄養学科、臨床検査学科	食物栄養学科、保育学科、言語文化情報学科	コミュニティ生活学科、食物栄養学科、音楽学科、保育学科 専攻科(音楽・音楽演奏・栄養・保育・生活文化)	
(2) 学生数(概数)	約2,600人	約200人	約440人	341名	約450人	約570人	総定員 832人(本科800, 専攻科32)
2 実施状況と対象者をお答えください。(具体的に)	<p>対象者:全1年生</p> <p>授業の1コマを利用し、各学科(6学科)の1年生を半分ずつに分けて図書館の利用方法等について説明。内容は、利用案内、施設案内、OPAC検索実習。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):13回、559名</p>	<p>対象者:新入生(語学研修生、職員の再研修含む)</p> <p>オリエンテーションの一環として図書館利用説明及び施設案内を実施しています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):6回、約200名</p>	<p>対象者:新入生</p> <p>新入生対象のオリエンテーションの中で図書館の概略について説明して、利用者カードを配布している。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):10回、約440名</p>	<p>対象者:新入生</p> <p>オリエンテーションとして、図書館見学があり、口頭で説明を行っている。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):1回(新入生全員)</p>	<p>対象者:新入生</p> <p>オリエンテーションの一環として、利用案内・施設案内等をプレゼンテーションソフトを使用して、説明および紹介しています。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):1回、約220名</p>	<p>対象者:全学科の1年生対象</p> <p>新入生オリエンテーションの一環として図書館の簡単な施設紹介および利用案内を行っている</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):6回 約290名</p>	<p>対象者:本科新入生</p> <p>入学時のオリエンテーション行事の中で図書館ツアーを実施しています。内容は概要説明と施設案内です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):160名×1回(クラス毎に分かれて来館しています)</p>
	<p>対象者:希望者(主に4年生、大学院生)</p> <p>卒業研究を行う学生を主な対象として、文献探索セミナーを実施。内容は、文献の探し方、CiNii、SciFinder、JDreamIIの使い方。(SciFinder、JDreamIIIは外部講師)</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):文献の探し方、CiNiiはそれぞれ1回ずつ、SciFinder、JDreamIIIは2回ずつ計6回、62名</p>		<p>専攻別のクラスごとに図書館ガイダンスを実施している。内容は利用案内と図書館ツアーです。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):10回、約220人</p>	<p>対象者:1年生</p> <p>1年生を対象に、フレッシュマンセミナーを必須科目として受講させている。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):1回(1年生全員)</p>	<p>対象者:保育学科の1年生</p> <p>学科より依頼があり、基礎的なガイダンスを授業の約0.5コマを使用し、実施しています。内容は、利用案内・OPAC検索実習です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):2回、59名</p>		<p>対象者:本科1年生</p> <p>基礎的なガイダンスを授業の1コマを使って実施しています。内容は、図書館の利用案内と利用体験です。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):40名×1回×4クラス</p>
					<p>対象者:食物栄養学科栄養士コース2年生の一部のゼミ生および専攻科1年生の一部のゼミ担当教員からの依頼で授業の1コマを使用し、「学術論文の探し方」というテーマで、ガイダンスを実施しました。</p> <p>昨年度実績(回数、参加者数):2回、12名</p>		
3 工夫している点をお答えください。	<p>利用案内は以前はスクリーンを使って行っていたが、寝ている学生が多かったため、施設案内の中に取り入れて行うようにした。</p>	特になし	<p>話が全員に伝わるように、ガイダンスは少人数(20人程度)で実施している。</p>	<p>図書館イメージを払拭するために、着物で講義したりオカリナ演奏をしている。また、その時間に1人1冊本を借りることにし、使い方の徹底を図っている。講義終了後、レポートを課しているので、学生の率直な意見や感想を聞くことができる。</p>	<p>「学術論文の探し方」では、館内所蔵の資料より論文名を提示し、掲載されている資料を館内から探す作業をしてもらっています。</p>	<p>ガイダンスに割り当てられた時間が短いため、学生が図書館を利用する際に随時、利用方法、手順などを説明している。</p>	<p>・本校卒業生以外の専攻科新入生、第4学年編入生、外国人留学生について、各々適当な空き時間に図書館に呼んでオリエンテーションを行っています。</p>
4 課題や問題となっている点がありましたらご記入ください。	<p>・1年生対象の利用者ガイダンスについて、学生からは、一度に行う人数が多いという指摘が出ているが、職員数の関係上、どうしても職員1人あたり15~20程度の学生に説明することになる。また、OPAC実習で利用できるパソコン数も限られていることから、十分な体制がとれているとは言いがたい。授業時間数等の関係からもコマ数を増やすことも簡単ではないため、他大学様での例(大人数に説明する場合の工夫や、職員数が少ない場合の対応等)を参考にさせていただきたい。</p>	特になし	<p>体制及びスケジュールの都合で、実践的な内容まで踏込んでガイダンスが実施できていない。</p>	<p>毎年の授業がマンネリ化している。学生の興味を引くような工夫がなかなかできない。「行きたい図書館」ではなく「行かなければならない図書館」ではありたくない。館員一人なので、評価・相談ができない。</p>	<p>大人数を対象に実施した場合は、学生の反応や理解度に大きな差があり、効果が低いように感じられるが、回数を増やさず、少ない職員でも可能な、良い方法が見つからない。</p>	<p>現在行っているのが新入生向けの簡易なガイダンスのみである。学生の集中力が続かず時間をかけたガイダンスが行えないためであり、興味を持って聞いてもらうための良い方法がないか他大学さんの事例を参考にさせていただきたい。</p>	<p>・常勤職員2名、夜間非常勤2名の人員のため、ガイダンス講師役は係長がするものと固定化状態で、係員に講師役をさせることができる状況にありません。</p>